

キャラクター名  
デスピナ/紅月 乙女

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	中学生
	サラマンダー					
オプション			年齢	7	性別	女
覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	39	%
出自	人工生命	経験	旅	邂逅	保護者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	0	0			4	行動値	5
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	5
精神	2	1	0			3	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
エリウトロン	RC	8r+6		22		侵蝕7+4 M1+2+3 装甲値貫通
エリウテマ・オルプニオン	RC	12r+6		58		100↑ 侵蝕11+4 M1+2+3+4 装甲値貫通

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	
ペンダント	
コネ: 要人への貸し	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
永遠の炎	P	N		
アリオ	P 信頼	N 隔意		
ヴァシリオス・ガウラス	P 感服	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: サラマンダー	2	2	Xジャーアクション	-	-	シンドローム		
効果: 組み合わせた判定のクリティカル値を-LVする								
焦熱の弾丸	1	1	Xジャーアクション	視界	-	RC		
効果: 攻撃力+[LV+2]の射撃攻撃を行う。								
結合粉碎	5	4	Xジャーアクション	-	-	シンドローム	ピュアブリード	
効果: このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+LV個する。さらに、対象の装甲値を無視してダメージを算出する。								
エターナルブレイズ	5	4	セットアッププロセス	-	自身	-		
効果: そのラウンドの間、あなたが行うサラマンダーのエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力+[LV×4]する。そのラウンドの間、あなたの行動値は-5される。								
プラズマカノン	5	4	Xジャーアクション		-	RC	100↑	
効果: 攻撃力+[LV×5]の射撃攻撃を行う。								
オリジン・ヒューマン	1	2	マイナーアクション	至近	自身	-	RB	
効果: そのシーンの間、エフェクトを使用して判定するあらゆる達成値を+LVする。								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	-	RB	
効果: あなたが行う衝動判定のダイスを+LV個する。このエフェクトは浸食率によるレベルアップの効果を受けない。このエフェクトを取得した場合、あなたの侵蝕率基本値を+5する。								
閃熱の防壁	1	4	オートアクション	視界	単体	-	ピュア	
効果: 対象にHPダメージが適用される直前に使用する。対象が受けるダメージを-[LV+2]D点する。このエフェクトはあなたを対象にできず、1ラウンドに1回まで使用できる。								
熱感知知覚	★	-	Xジャーアクション	至近	自身	-		
効果: EA111P								
炎の理	★	-	Xジャーアクション	至近	効果参照	-		
効果: EA111P								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

『設定』 -----  
 イレネ・メルクーリという研究者に造られたレネゲイドビーイング。命を賭して造られた彼女は、鏡合わせのクローンとしてではなく、理想の存在となるように造られた。二度と、自分達が虐げられることがないように。しかし、事故で施設は半壊してしまい、覚醒後間もなく路頭に迷ってしまう。そこで彼女はレネゲイドビーイングであるアリオに拾われる。アリオは彼女に「力ある者の責任」を説き、溢れんばかりだった力を正しいことに使うように促す。彼女は世界を見て回った結果、己を失ったジャームを討って解き放つことこそ自分が力を持って存在している意味だと考え、ジャーム狩りを行うようになった。

結果的に、ジャーム狩りは彼女に二つの名を与えた。

紅蓮の炎で人々を救うその姿を"紅蓮の乙女"、レネゲイドビーイングでありながらジャームを裁くその傲慢さを"天罰狂い"

元々名前が無かった彼女は『紅蓮の乙女』から、デスピナと名乗るようになった。

『現在』 -----  
 中東や西ヨーロッパを中心にジャーム狩りを行っていたデスピナは、知り合いとなったマルコ班の副隊長アイシェ・アルトゥに紹介され、日本に移り住んで中学生としての生活を送ることになる。何故ならば、学術的知識はアリオから学んでいたものの、一般常識や集団活動の意識が欠如していたためだ。デスピナ自身はあまり乗り気ではなかったが、アリオとアイシェの強い要望によって実現された。最も願ひは、彼女に人間としての生活を送ってほしかったからなのだが。しかし、ファルスハーツの暗躍が絶えない日本で彼女が落ち着ける暇があるわけもなく、日々そういった事件に関わっている。それが望まれていた普通なのかは……少し首を傾げるところだろう。